



Title	井元秀剛先生に学んで
Author(s)	梶原, 久梨子
Citation	Gallia. 2026, 65, p. 105-106
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/104483
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

井元秀剛先生に学んで

梶原 久梨子

私が井元秀剛先生と初めてお会いしたのは今から12年ほど前のことです。井元先生は、当時私が在籍していた関西学院大学で、フランス語学特殊講義の授業をご担当なさっていました。

学部の井元先生のご講義では、言語学を学び始めたばかりの私たちの知的好奇心を引き出してくださり、「当たり前のことを疑う」ということを学びました。先生は、日常的に何気なく使っていることばについて次々に興味深い問いを与え、スパッと論理的に説明されました。先生のご講義で、言語学はなんと面白い学問なのだろうと感銘を受け、言語学者を志しました。

留学先のパリから帰国した後、大阪大学の博士課程に進学し、指導教授として井元先生のご指導を仰ぐ機会に恵まれました。ゼミで印象に残っていることは、「君がどう考えているのかを知りたい」と繰り返しおっしゃっていたことです。また、「理論に当てはめようとするあまり、理論の形を歪めてしまっている。そういう説明は美しくない」というお言葉も心に刻まれました。井元先生のお言葉はいつもまっすぐで、研究の本質を教えてくださいました。こうした井元先生の教えは何より貴重な私の財産です。

研究のことでは時に厳しいご意見をくださる井元先生ですが、普段はとても気さくで朗らかでいらっしゃいます。私の結婚式にご出席いただいた際は、私の関学時代の友人たちと二次会に行ってくださいと聞きました。10年ぶりの「大学の先生」に緊張していた友人たちも、楽しくお話しするうちに気づけば恋愛相談にまで乗っていただいたそうです。かくいう私も、井元先生には研究以外でも色々と気にかけていただき、そのことをとても嬉しく思っています。私が大学院を修了してからは、甘いものがお好きな井元先生と、研究室でお茶菓子を食べながらお話しするのが常になっています。

ところで井元先生といえば、たくさんのご趣味（といえないほど造詣が深くていらっしゃいますが）をお持ちでいることはよく知られていると思います。私が最近研究室にお邪魔した際も、新しい分野の勉強を始められたと嬉しそうに話しておられました。「勉強は楽しい！」と目を輝かせる先生のお姿から、先生に教えていただいた学問に対する真摯な姿勢と、学ぶことの楽しさを忘れずに歩んでいきたいと思いました。

私が申し上げるのも僭越ですが、こうした先生の深いご見識と誠実で飾らないお人柄は、学内外の方から親しまれていくと多々感じます。「指導教授は井元先生です」というと、それを聞いた方は、「ああ、井元先生ですか」と笑顔になり、楽

しいエピソードを聞かせてくださいます。それまで難しい顔をされていた先生も一気にお顔が綻び、話が弾むのです。このように研究指導の場以外においても、私は井元先生に導いていただいていると感じます。そうした時、私がフランス語学を学ぶ中で井元先生に出会い、指導を仰ぐことができたのは、この上ない幸運であったと改めて感じます。先生、ありがとうございます。

(大阪大学全学教育推進機構特任研究員)